

PROGRAM

鐘がなります 山 田 耕 柝
赤とんぼ 山 田 耕 柝
中国地方の子守歌 山 田 耕 柝
初 恋 越 谷 達之助
庭の千草 アイルランド民謡
モーツァルトの子守歌 モーツァルト
ロンドンデリー(ダニーボーイ) アイルランド民謡
マッティナータ(朝の歌) レオンカヴァッロ
忘れな草 ク ル テ イ ス

カロ ミオ ベン ジョ ル ダー ニ
す み れ ス カ ル ラ ッ ティ
霧 レ ス ビ ー ギ
溜 息 レ ス ビ ー ギ
理想の人 ト ス テ イ
4 月 ト ス テ イ
柳 の 歌 ヴェルディ 歌劇「オテロ」より
トゥーレの王様 宝石の歌

グノー 歌劇「ファウスト」より

インタビュアー 村田 順子

四季のコンサート 秋

平成3年9月26日(木) 6:45

浜松市民会館ホール

主催：浜松音楽友の会

歌手「ノ」と絶賛された。以後、イタリア国内ではフ
エニチ王歌劇場、サン・カルロ歌劇場、トリノ王
立歌劇場を初め、各地の歌劇場に出演。又、コヴェ
ントガーデン王立歌劇場、ヘルシン・ボイ・オペ
ラ、バイエル国立歌劇場、フランクフルト国立歌
劇場、ミュンヘン・コングレス・ザールをはじめ、
世界の歌劇場にも出演し、絶賛を博している。
1989年12月には、ウイーン国立劇場にて「蝶々
夫人」でデビュー。そして大成功を収め、1991年のシ
ーズンには再び歌う。
日本では、1972年、「フィガロの結婚」のケルビ
ーノ役でデビュー。「1986年シロー・オペラ大賞」
を受賞。二期会員。

1964年、日伊音楽コンクール特賞受賞。1965年、毎
日音楽コンクール第1位、海外コンクール派遣代表
決定特別審査会の特別表彰を受賞。
1968年、ローマのサンタ・チエチリア音楽院を首
席名義で卒業。1968年よりトゥーラース、バルセ
ロナ、ジュネーブ、バルトリノの各コンクールに
イタリアに於いてオトリオ・コンサート歌手と
して活躍後、1972年、ローマ国立歌劇場における
「カルメン」のミカエラ役でデビュー。イタリアの
評論家より「主役を食うほどの演技、最高のオペラ

松本美和子(まつもとみわこ)

ソプラノ



松本美和子ソプラノリサイタル

ピアノ 久 邇 之 宜

日本歌曲

- ◎山田 耕筰(1886～1965)は、東京音楽学校(芸大の前身)声楽科の出身で、おもに声楽の分野に重要な足跡を残した。特に歌曲に貴重な作品が多く、本格的な日本の芸術歌曲は山田耕筰によって開始されたと言われている。
- ◎越谷達之助(1909～)は、東京音楽学校師範科を卒業。「初恋」は、ABAの3部形式で書かれた、素朴な美しさに満ちた曲で、歌詞は石川啄木の短歌《砂山の 砂にはらばい 初恋の 痛みを遠く 思い出ずる日》が反復して用いられている。

アイルランド民謡

「庭の千草」は、ドイツの作曲家フロトーが1847年に作曲したオペラ『マルタ』の第2幕で歌われてから有名になった。

「ダニー・ボーイ」は、アイルランド北部の港町ロンドンデリーで歌われていた「ロンドンデリーの歌」としてもよく知られている民謡であるが、最近では1913年に作詞された「ダニー・ボーイ」が使われることが多い。2曲とも旋律的に6度の音程で跳躍する箇所が特徴的である。

ドイツ歌曲

- ◎モーツァルト(1756～1791)はオーストリア出身の作曲家であるが、古典派のドイツ歌曲の代表者のひとりでもある。しかし、「モーツァルトの子守歌」として世界的に親しまれてしまったこの曲は、実際にはフリースという医者作曲したものであることが証明されている。

イタリア歌曲

以下の曲目は、必ずしも今夕の演奏順ではなく、作曲家の年代順に並べてある。

- ◎スカルラッティ(1660～1725)
「すみれ」は内気なすみれと野心家の青年の望みを対照的に歌った曲。イタリア古典歌曲の代表作の一つ。
- ◎ジョルダーニ(1753頃～1798)
「カロ・ミオ・ベン(恋しき君)」はイタリア古典歌曲の中でも特に親しまれている作品。
- ◎トスティ(1846～1916)
「理想の人」は失恋の歌。「四月」は愛の季節を歌ったもの。トスティは親しみやすい歌曲を多く書いた作曲家。1870年以降はロンドンで活躍するようになり、1906年にはイギリスに帰化してしまう。
- ◎レオンカヴァッロ(1857～1919)
「朝の歌(マッティナータ)」は恋の歌。オペラの作曲家である彼の作品の中では、数少ない歌曲のひとつであり、現在でもよく歌われるイタリア歌曲の秀作。
- ◎レスピーギ(1879～1936)
「霧」は寒々とした自然を歌った曲で、イタリア現代歌曲の代表作のひとつ。そのほか今夕歌われる「ため息」を含め、彼は数十曲もの歌曲を書いた。

オペラからの抜粋曲

以下の曲は歌曲ではなく、オペラの中から抜粋されたものである。

- ◎ヴェルディ(1813～1901)
アリア「柳の歌」は、イタリアの作曲家ヴェルディが1886年に作曲したオペラ『オテロ』の第4幕で、死を予感したデスデモナがわびしく歌うイギリス民謡風の美しい調べである。
- ◎グノー(1818～1893)
バラード「トゥーレの王様」は《むかし王様は妻に先立たれて……》、カバレッタ「宝石の歌」は《ああ！私はなんて美しい……》と歌っていく。この2曲は、フランスの作曲家グノーが1859年に作曲したオペラ「ファウスト」の第3幕で、マルグリットが歌う曲である。なお、バラードとは物語風の歌のことで、カバレッタとはオペラの中で歌われる短い歌の形式名のひとつである。

久 邇 之 宜 プロフィール

(く に ゆき のぶ)

国立音楽大学ピアノ科卒業。伴奏法を小林道夫氏に師事。ウィーン国立音楽学院に留学し、ローベルト・ショルム氏に師事。当地で幾多の演奏会、さらにはORF(オーストリア国立放送)の音楽番組などに出演。帰国後数多くの声楽及び器楽演奏者と共演し、好評を博している。また、合唱音楽にも興味を持ち、東芝EMIの「日本の合唱音楽シリーズ」には、ピアニストとして参画している。